



FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報
例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org



会長：仲田 廣志 副会長：大塚 博巳 幹事：池ノ谷 敏正 副幹事：森下 敏顯
第1958回

【蓮】
写真提供：櫻井龍太君

【2012-2013年度 RIテーマ】 ■ソング 我が藤枝ロータリー ■ソング リーダー 竹田 勲君

会長報告 仲田 廣志君

皆さん、こんにちは。

会長報告をさせていただきます。新年度が始まって10日には産業大学の冠講座、二週目にガバナー補佐訪問例会、15日には、甲府で地区会員増強・維持セミナー、そして先週は、ガバナー公式訪問合同例会と慌ただしい日程でした。私としては、落ち着かない日々でした。ロータリーの公式行事が瞬く間に終わったと感じています。

さて、いくつかの報告をさせていただきます。

11日のガバナー補佐訪問例会の後、蒔田ガバナー補佐、焼津クラブインターアクト委員長の徳田さんと池ノ谷幹事そして私の4人で順心高校へお伺いしてインターアクトクラブ顧問の佐野先生と懇談をまいりました。

現在順心高校のインターアクトクラブの部員は5名とのことでした。色々お話しする中でロータリーとの関わりについて先生のお感じになっていること等お話を聞いてまいりました。要約してお話させていただきますと、現在の形は、お金の助成をいただき活動しなさいというだけで接点がない。理想的な形としては、やはりお金だけでなく具体的な関わりを持ってくれたらとのお話でした。生徒の例会に出席してお話をしたりとか、何か一緒に活動したりしてロータリアンの背中をみせてくれるような事があってほしいということでした。お話を聞いて我々も反省すべき点が多々あると感じました。順心高校のインターアクト部が、現在行っている活動は、週2回水曜日と金曜日の4時半から6時半の二時間、講師に来校していただいて点字本の作成をしていることが主たる活動とのこと。顧問の佐野先生とは、夏休み以降、水

曜日と金曜日以外の日、月1回程度インターアクトの生徒とロータリアンの合同例会を開催する方向で進めることとさせていただきました。ともかく、子供たちと直接接触することから次の展開も開けるのではないかと思います。インターアクト委員長の島村君には、これから先生と相談していただき前へ進めていただくようお願いをしました。会員の皆さんにも子供たちとの例会にご参加をお願いすることとなるかと思いますが、宜しくお願いします。また、15日の会員増強・維持セミナーには、大塚会員増強委員長と電車で参加してまいりました。セミナーでは、様々な意見もでしたが、ともかく計画の実行性を求められました。大塚君とは、往復6時間の車中で有意義な意見交換をさせていただきました。近々、大塚増強委員長からは、具体的な実行計画の提案があるかと思いますが、会員増強は今の藤枝クラブにとって最大かつ緊急の課題であると思います。会員増強は、会員全員のテーマとして捉えて全員で取り組んでいただくようお願いいたします。

さて、最後にもう一点ご報告させていただきます。先週の合同例会の前にガバナーをお迎えしての会長幹事会が11時から行われました。

その内容についてお話をさせていただきます。藤枝クラブからは、私、池ノ谷幹事、大塚副会長、森下副幹事の4名が出席しました。

はじめに、私からクラブの現状報告と今年度活動計画の発表をさせていただきました。そのあと、ガバナーからアドバイスをいただきましたので、簡単にご報告させていただきます。

冠講座については、RI会長賞を受賞したことでもあり、大変評価のできる事業と思うので意義あ

る業績賞も申請したらどうだろうかとのお話をいただきました。国際奉仕事業のバングラディッシュ支援についての質問がありましたので、米山奨学生ダスプロタープ君との関係から支援との内容説明をさせていただきました。ガバナーからは、各種団体への協賛も見直しすることも必要、その予算を国際奉仕に向ける事も一考してもいいのではないかと進言をいただきました。藤枝クラブの年齢構成については、バランスが取れていていい状態と思うとのことでした。会員数もここ4、5年安定しているとのことでした。それなりの評価をしてくださいました。ただ、クラブ計画書にある職業分類については、一度見直し、整理をしたほうがよいのではないかとのご指摘を受けました。これにつきましては、会員増強実行計画と絡めまして検討していけばと思っています。広島世界平和フォーラムは、会場の制約があるため登録参加できる2620地区の人数は30名とのことでした。したがって、登録参加はできないが是非広島原爆ドーム等訪れていただきたい。そうした後方支援をRI会長には、報告をさせていただくとのことでした。ロータリー財団が、2013-14年度から「未来の夢計画」がスタートし新補助金制度が設けられるそうです。是非活用を考えて下さいとのことでした。

これにつきましては、「地区ロータリー財団セミナー」が8月11日グランシップで開催されますので、松葉ロータリー財団委員長と私で出席し勉強してまいります。

夏本番です。皆さんともかく体調管理には、気を付けられてお過ごしいただくようお願いいたします。会長報告とさせていただきます。

幹事報告 池ノ谷 敏正君

- 第2620地区より
高野ガバナーより公式訪問のお礼文が届いております。
- 第2620地区より
8月のロータリーレートのお知らせが届いております。1\$ = 80円です。
- 第2620地区より

富士山絆の日の報告が届いております。

- (公財)ロータリー米山記念奨学会より
ハイライトよねやま148号が届いております。
- 社会福祉法人ハルモニアより
第2回ウェルフェア塾のご案内とウェルフェア塾便りが届いております。
- 山梨ダルク本部より
会報が届いております。

出席報告 中森義次君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
33 / 39 84.61%	32 / 39 82.05%

(1)欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○大塚博君 ○小泉君 ○渡辺君 玉木君
仲田晃君 落合君

委員会報告

『肺癌について』

保健担当

柳原寿男君



人口13万人の藤枝管内での年間死亡数約1,400人、そのうちがんによるもの360例で全死亡数の約25%を占める。一方、日本人1億2,700万人の年間死亡数130万人、がんによるもの40万人弱となっている。そして全がんの中で肺癌による死亡率が第一位である。全国では6万人を越している。ちなみに藤枝管内では67例である。

3分間スピーチ 小林 弘君

取り留めの無い話ですが、自動車についてお話しします。私は、フォルクスワーゲンに乗っていますが、俗に悪口で「ポロクソパーゲン」と言われることがあります(いい車だと思います)。これを選んだのは、腰痛持ちにとってシートができるだけいいものがあるが、これが大きな理由ですが、もうひとつ高校時代の出来事が影響しています。私は掛川市の南側の海辺の出身ですが、

そこから高校や掛川駅まで道のりが16kmありました。1年生の頃にはトンネルを3つぐって通いました。3年生のときには道路工事が進みトンネルは1つになっていました。冬休みに名古屋まで模擬試験を受験しに行った際、母が早朝駅まで車で送りましたが、大きな切通しのところで止まってしまいました。当時は携帯電話も無いし、田舎で近くに公衆電話もありませんでした。途方に暮れていたときに、たまたま通りかかった人が駅まで送ってくれました。その人が乗っていたのが白いフォルクスワーゲンでした。トラウマという訳ではありませんが、どうしても気になってしまいます。

妻も別のフォルクスワーゲンに8年半乗っていましたが、最近買い換えました。経年により電気系統の故障が相次いだこともありますが、凹んだり塗装が傷つけられたりして（詳細は略します）、素人の私がおの度塗料をスプレーしたりしたため、縞々、斑だらけになってしまったことが大きな要因です。下取りに出しましたが、評価額5万円と不本意な金額になりました。まさに「ボロクソバーゲン」にしてしまいました。家庭内で私自身がそのような状態にならないように、家族孝行を心がけようと思っています。

■ パスト会長卓話

青島 彰君



一年を振り返って

創立40周年を迎えての会長は大変に忙しかったの思いが一番です。それでもなんとか1年間を無事に務められたのも皆さんのおかげだと思います。有難うございました。

会長の日課は月曜日に会長報告の原稿づくりに取りかかります。あれやこれやと考えていると丸一日掛かることもありました。文才のなさをあらためて認識しました。他クラブを訪問した折の会

長報告を聞いていると報告のみで出来事に対しての思いを話されることは余りない印象でした。大塚幹事から例会次第、理事会があれば理事会議事次第がメールで送られてきます。細かい内容まで二人で検討し例会を迎えます。会長報告は上手にとか、面白可笑しくとか考えますと結構「おち」のない話しになり締まりのない報告になってしまいます。かなりの場面であったことを考えると赤面してしまいます。このパターンが40数回続くわけですから結構エネルギーの必要な毎日となります。それなりにスムーズに例会運営が出来たのも、責任感をもって幹事役を務めてくれた大塚幹事には感謝しています。

創立40周年実行委員会は青島実行委員長を初めとする各委員の皆さんの努力で5つの記念事業が行えました。クラブソングの制作はクラブ会員の手作りでの発想は藤枝クラブならではのしょうか。

この頃は余り歌う機会がない様に思いますが是非とも月一回は歌うのはどうでしょうか。

当初の計画をした記念事業が紆余曲折の結果、消滅してしまい担当の平部会長を悩ませたことと思います。しかしながら、「はやぶさの挑戦」、防災シンポジウム「東日本大震災 被災地に学ぶ」の記念事業については人集めには苦労しましたが、私達のふところの中で出来た非常に有意義な記念事業であったと思います。石垣善康君、河合宏文君、大塚高弘君のバングラディッシュ訪問も国際奉仕の面から見ても記憶に残る出来事でした。記念日例会式典も盛りだくさんの次第があるにもかかわらずスムーズな進行が行えたのは式典部会の皆さんの努力の結果だと思います。あらためて感謝申し上げます。

大変に残念なことは年度末には4人の退会者を出してしまったことです。各々事情はあったにせよ私の努力不足と反省をしています。

7月に入ると、2週間程、何かふぬけ状態になりました。この一年は人生のなかでの貴重な経験が出来たと思う今日この頃です。一年間何かにつけフォローしていただいた皆さん有難うございました。

(担当/池谷君)